





## II. 聞き取りによる文脈の理解

## A. 説明文の理解

準備： 図版 6～11

説明 「これから私がお話を読みます。そのあと、いくつか質問をしますから、よく聞いていてください。」 文と文の間に1秒程度の「間」を入れる。

読み上げ 「南極は、地球のいちばん南にあり、1年中とけることのない氷におおわれています。きびしい寒さのために、人間が生きているにはたいへんな気候ですが、アザラシやクジラなど、生き物もたくさんすんでいます。夏には、氷が溶けた岩場に数多くのペンギンたちがやってきました。子どもを育てます。また、夜でも太陽がしずまないため、いつも明るく、時間が止まってしまったように感じることもあります。

日本が夏になる頃、南極は冬になります。こんどは太陽の出ない長い夜が近づきます。冬の空には美しいオーロラが輝きますが、ひとねむりしている間にすべてのものを雪で埋め尽くしてしまう雪あらしがふきあれることもあります。厳しい寒さのために、冬のあいだ、多くの動物たちはよりあたいたかいたところに移動していきます。」

手続き： 1. 内容についての質問

「ではこれからいくつか質問をします。」

①-a 「南極の夏には、どんな動物が岩場で子育てをしますか？」

①-b 無反応、「わからない」、あるいはペンギン以外の動物を答えた場合、図版6を提示する。

「それではこの3つの中から選んでください。南極の夏には、どんな動物が岩場で子育てをしますか？」

文字化した選択肢を提示し、読み上げる。ただし、子どもが読むことに熟達している場合には、読みあげなくても構わない。他の問題についても同様。

②-a 「南極の夏には、時間が止まってしまったように思うことがあるのはどうしてですか？」

②-b 無反応、「わからない」、あるいは以下の3つ以外を答えた場合のみ、図版7を提示する。「それではこの3つの中から選んでください。」 ②-aの問題文を繰り返し、選択肢を読み上げる。

文章を読んでいる途中で語の意味を尋ねられた場合(例「気候ってどういう意味?」)、「知らない言葉が入っているからもしれないけれど最後まで聞いてね」と答え、そのまま続ける。

「アザラシ」など、文章の中に出てこなかった動物を答えた場合、「さっきのお話でアザラシと言っていたのですね」と確認する。ペンギン以外の動物が付加された場合は誤答とする。

表出

三択

( ) → [ ](1)  
①-aで正答の場合、①-bも正答として加算

記録(✓)：  
クジラ ホッキョクグマ ペンギン  
( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
(下線が正答)

( ) → [ ](1)  
②-aで正答の場合、②-bも正答として加算

記録：  
( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
夜でも明るい 夏が長い 時計がない  
( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )

③-a 「南極が冬になるころ、日本はどのような季節になりますか？」

③-b 無反応、「わからない」、あるいは以下の3つ以外を答えた場合のみ、図版8を提示する。「それではこの3つの中から選んでください。」③-aの問題文を繰り返し、選択肢を読み上げる。

記録：( ) → [ ](1)  
 なつ あき ふゆ  
 ( ) ( ) ( ) → [ ](1)  
 ③-aで正答の場合、③-bも正答として加算

④-a 「南極の冬の空には何が見られますか？」

④-b 無反応、「わからない」、あるいは以下の3つ以外を答えた場合のみ、図版9を提示する。「それではこの3つの中から選んでください。」④-aの問題文を繰り返し、選択肢を読み上げる。

記録：( ) → [ ](1)  
 にじ ほっきょくせい オーローラ  
 ( ) ( ) ( ) → [ ](1)  
 ④-aで正答の場合、④-bも正答として加算

⑤-a 「南極の冬は、寒さ以外にどのようなきびしさがありますか？」

⑤-b 無反応、「わからない」、あるいは以下の3つ以外を答えた場合のみ、図版10を提示する。「それではこの3つの中から選んでください。」⑤-aの問題文を繰り返し、選択肢を読み上げる。

記録：( ) → [ ](1)  
 けしき 強い風 ぬむれない  
 ( ) ( ) ( ) → [ ](1)  
 ⑤-aで正答の場合、⑤-bも正答として加算

⑥-a 「冬の間、多くの動物たちは寒さを避けるために何をしますか？」

⑥-b 無反応、「わからない」、あるいは以下の3つ以外を答えた場合のみ、図版11を提示する。「それではこの3つの中から選んでください。」⑥-aの問題文を繰り返し、選択肢を読み上げる。

記録：( ) → [ ](1)  
 ゆきの中 あたたかい場所 子ども  
 ( ) ( ) ( ) ( ) → [ ](1)  
 ⑥-aで正答の場合、⑥-bも正答として加算

「ほかの所に移動する」という回答には「ほかの所とはどんな所？」と再質問する。

## 2. 言語表現力についての質問

①「あなたが南極に行くとしたら、南極が夏のときと冬のときでは、どちらがいいですか？」

②「なぜその季節がいいと思いますか？」

夏か冬いずれかをあげれば1点

( ) → [ ](1)

②は①との整合性があれば1点  
整合性がなければ0点

( ) → [ ](1)

①で「どちらでもいい」と答え、②で夏と冬の両方のいいところを答えることができれば、①②とも1点

前頁①②も合計に入れること

(14)

## B. 物語文の理解

準備： 図版 12 を提示する。

説明 「こちらはみほちゃん、こちらはあけみちゃんです。」 それぞれの絵を指さす。「これからふたりが出てくるお話を読みます。そのあと、いくつか質問をしますから、よく聞いてください。」 絵図版を見せながら文章を聞かせる。文と文の間に 1 秒程度の『間』を入れる。感情をこめずに中立的な雰囲気で見聞かせる。

読み上げ 「みほちゃんは、あけみちゃんと今度の土曜日にくじら公園に行く約束をしました。くじら公園には大きなくりの木があり、今ごろはたくさんのくりの実をつけていることでしょう。くりの実をひろってあげれば、お母さんもよろこぶにちがいありません。」

土曜日の朝になりました。お母さんは近くにできた新しいお店に、買い物に行くたくをしていきます。みほちゃんは、買ったものを家に持って帰るのを手伝ってあげようと、お母さんといっしょにお店に出かけました。それはとても大きなお店で、はじめて見る品物ばかり。みほちゃんはむちゅうになりました。ふと時計を見ると、あけみちゃんと公園で待ち合わせをしていた時間を 30 分も過ぎていました。お母さんは困った顔で、「あなたは友だちを大切にしているのね」と言いました。みほちゃんはいそいで家に帰って、あけみちゃんの家に電話をしました。だれも電話に出ませんでした。」

手続き： ①「みほちゃんは、あけみちゃんと何曜日にくじら公園に行くことにしていますか？」(事実)

事実 → [ ](1)

推論

②「ふたりはくじら公園に何をしに行くつもりだったと思いますか？」(推論)

[ ](1)

③「みほちゃんはどうしてお母さんと買い物に行くことにしたのでしょうか？」(事実)

[ ](1)

④-a 「どうしてお母さんは『あなたは友だちを大切にしているのね』と言ったのでしょうか？」(推論)

[ ](1)

④-b 「お母さんは『友だちを大切にしているのね』と言ったとき、心からほめていましたか、それとも本当はほめていなかったと思いますか？」(推論)

[ ](1)

ほめていた ( )  
ほめていなかった ( )

⑤「どうしてあけみちゃんは電話に出なかつたのでしょうか？」(推論)

( ) ( ) ) → [ ](1)

⑥「みほちゃんはどうかしらよかつたのでしょうか？」(推論)

( ) ( ) ) → [ ](1)

⑦「あけみちゃんはどういう気持ちだつたと思いますか？」(推論)

( ) ( ) ) → [ ](1)

⑧「このあと、みほちゃんはどうかすると思いますか？」(推論)

( ) ( ) ) → [ ](1)

(9)

A. 説明文の理解

(14)

+

(9)

=

(23)

I. 聞き取りによる文脈の理解

### Ⅲ. 音読

#### Ⅳ. 文章の読解

準備：1年生＝図版13～16、2年生＝図版17～20、3・4年生＝図版21～24

##### ストップウォッチ

ふかいうみのなかは、ひるまでもたいよのひかりがとどかない、くらやみのせかいです。そこにすむさかなは、くちがとでもおおきかったり、すどいちはえはえたり、みかけはこわいかおをしています。でも、おおきなくちがあれば、えさをひとくちでのみこむことができます。また、なまをよびよせさせるためや、くらやみのなかでえさをとるために、からだがひかるさかなもいます。

ふかい海の中は、屋間でもたいよの光がとどかない、くらやみのせかいです。そこにすむ深海魚は、口がとでも大きかったり、すどい歯が生えていたり、見かけはこわい顔をしています。しかし、ふかい海では生き物の数も少ないので、かんたんにえさに出会うことはありません。だから見つけたものをにがさないように大きな口をしています。また、なまに自分のいる場所を知らせるためや、くらやみの中でえさをとるために、体の一部分が光る魚もいます。

### 1・2年生用

### 3・4年生用

#### 手続き：音読

「ここにある文章をふつうの速さで読んでください。」時間を計り始める。

音読の誤りなどを「音読記録用紙」に記入する。

漢字が5秒たつても読めない場合、読み方を教える。

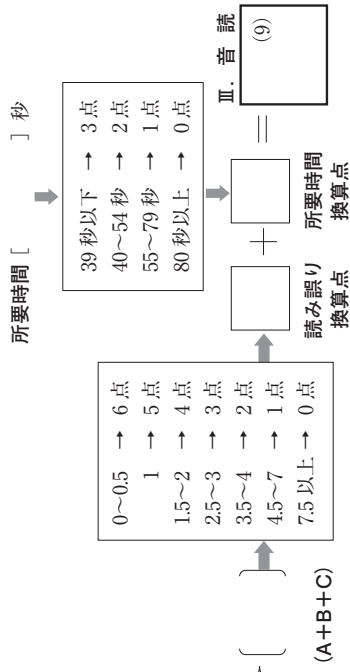
音読が困難で、子どもに負担がかかっている場合には、2分経過した時点で音読を中止してよい。

漢字の影響を受けない読み誤りなど（漢字の直前に起こらないもの）を対象：

- ・ **繰り返し** ..... ( ) 箇所 (A)
- ・ **削除・読み間違い・付加** ( ) 箇所 ← ①  
(例「さかな」→「さな」「さかな」「さたかな」)
- ・ **自己修正** ( ) 箇所 ← ②  
( ① ) - [ ( ② ) ÷ 2 ] = ( ) (B)
- ・ **3秒以上の中断** (例「さかな...は」)..... ( ) 箇所 (C)

例：削除など6箇所、自己修正3か所の場合 →  $6 - 3 \div 2 = 4.5$

参考：(3・4年生のみ) 漢字の読みにかかわると考えられる、漢字直前の読み間違い・繰り返し・中断、あるいは漢字の読み誤り( ) 箇所 (これは得点化の対象としない)



## 記録用記号例

音の削除

~~ひるまでも~~

読み違い

ひるま<sup>は</sup>でも

音の付加

ひるま<sup>から</sup>でも

繰り返し

ひる<sup>ひる</sup>までも

3秒以上の中断

~~ひるまでも~~

名前 ( )

音読所要時間

秒

読み誤りなどがなければ 

ふかいうみのなかは、ひるまでもたいようのひかりが  
 とどかない、くらやみのせかいです。そこにすむさかな  
 は、くちがとてもおおきかったり、するどいはがはえて  
 いたり、みかけはこわいかおをしています。でも、おおき  
 なくちがあれば、えさをひとくちでのみこむことがで  
 きます。また、なかまをよびよせるためや、くらやみのなか  
 でえさをとるために、からだかひかるさかなもいます。



## 記録用記号例

音の削除

読み違い

音の付加

繰り返し

3秒以上の中断

音読所要時間

秒

名前 (

)

ひるまでも ひるまでも は から ひる ひるまでも ひるまでも

ふかい海の中は、昼間でもたいよりの光がとどかない、

くらやみのせかいです。そこにすむ<sup>しんかいぎょ</sup>深海魚は、口がとても大

きかつたり、するどい<sup>は</sup>歯が生えていたり、見かけはこわい顔

をしています。しかし、ふかい海では生き物の数も少ないの

で、かんたんにえさに出会うことはありません。だから見つ

けたえものをにがさないように大きな口をしています。

また、なかまに自分のいる<sup>ばしょ</sup>場所を知らせるためや、くらやみ

の中でえさをとるために、体の<sup>いちぶぶん</sup>一部分が光る魚もいます。

読み誤りなど  
がなければ ✓

(図版13または17)「これからいくつか質問をします。文章を見ながら答えてもかまいません。」  
本文を見せたま質問するが、文章を見るように促すことはしない。

- ①「どうして深い海の中はくらののですか？」
- ②「深い海の中に住む魚はどのような顔をしていますか？ できるだけ詳しく説明してください。」(右の各観点につき1点で最高2点まで)→ひとつしか拳がなくても追質問はしない。
- ③「大きい口はなぜ役に立つのですか？」
- ④「魚の体が光るのはどうしてですか？」(各観点につき1点で最高2点まで)→ひとつしか拳がなくても追質問はしない。
- ⑤図版14または18の子どもから見て右側の文章を指さして言う。「この文章は、今読んでいたのと同じものです。」  
左側の枠で囲まれた文を指さして言う。「ここには質問が書いてあるのを読んでみます。」「右の文章を書いた人は『深い海の中は昼間でも夜のようだ』と言っていますか。」

「どうですか？ この文章に、『深い海の中は昼間でも夜のようだ』ということが書いてありますか？」無理に答えさせなくてもよい。  
少し考える時間を与えた後で、最初の行を指さして言う。「『深い海の中は、昼間でも太陽の光が届かない、暗闇の世界です』と書いてありますね。『昼間でも夜のようだ』と同じような意味ですから、この質問の答えは『はい』となります。』理解できていないようであれば、別の表現で説明してかまわない。

図版15または19の左側の枠で囲まれた文を指さして言う。  
「では次の質問です。ここに書いてある文を読んで、この質問に『はい』か『いいえ』で答えてください。声を出して読んで、だまって読んでもかまいません。」検査者は質問文を読み上げない。

- ⑥図版16または20の左側の枠で囲まれた文を指さして言う。「この質問文を読んで、同じように『はい』か『いいえ』で答えてください。」検査者は質問文を読み上げない。

誤った回答を付け加えた場合、正答数から誤り数を減じる。

## 記録 (✓) :

海の中に光がとどかないから ( ) → [ ] (1)

口がとても大きい ( ) するどい歯が生えている ( ) → [ ] (2)  
こわい顔をしている ( )

えさをひと口でのみこむことができる ( ) → [ ] (1)

なかまを呼びよせるため ( ) → [ ] (2)  
暗やみの中であえさを取るため ( )

こわい顔で相手を驚かす はい ( ) いいえ ( ) → [ ] (1)

光を役立てている生き物 はい ( ) いいえ ( ) → [ ] (1)

(図版 21)「これからいくつか質問をします。文章を見ながら答えてもかまいません。」  
本文を見せたまま質問するが、文章を見るように促すことはしない。

- ①「どうして深い海の中はくらのいのですか？」
- ②「深海魚はどのような顔をしていますか？ できるだけわたくしく説明してください。」(各観点につき1点で最高2点まで)→ひとつしか拳がらなくとも追質問はしない。
- ③「浅い所に住む魚よりも深海魚のほうが大きい口をもっているのはなぜだと思いますか？」(各観点につき1点で最高2点まで)→ひとつしか拳がらなくとも追質問はしない。
- ④「体の一部分が光るのはどうしてですか？」(各観点につき1点で最高2点まで)→ひとつしか拳がらなくとも追質問はしない。
- ⑤図版 22 の子どもから見右側の文章を指さして言う。「この文章は、今読んでいたのと同じものです。」

## 3・4年生用

左側の枠で囲まれた文を指さして言う。「ここには質問が書いてあるので読んでみます。右の文章を書いた人は『深い海の中は昼間でも夜のようだ』と言っていますか。」

「どうですか？ この文章に、『深い海の中は昼間でも夜のようだ』ということが書いてありますか？」無理に答えさせなくてもよい。  
少し考える時間を与えた後で、最初の行を指さして言う。「『深い海の中は、昼間でも太陽の光が届かない、暗闇の世界です』と書いてありますね。『昼間でも夜のようだ』と同じような意味ですから、この質問の答えは『はい』となります。」理解できていないようであれば、別の表現で説明してかまわない。

図版 23 の左側の枠で囲まれた文を指さして言う。「では次の質問でここに書いてある文を読んで、この質問に『はい』か『いいえ』で答えてください。声を出して読んで、だまって読んでかまいません。」検査者は質問文を読み上げない。

- ⑥図版 24 の左側の枠で囲まれた文を指さして言う。「この質問文を読んで、同じように『はい』か『いいえ』で答えてください。」検査者は質問文を読み上げない。

読った回答を付け加えた場合、正答数から誤り数を減じる。

## 記録 (✓) :

海の中に光がとどかないから ( ) → [ ](1)

口がとても大きい ( ) するどい歯が生えている ( ) → [ ](2)  
こわい顔をしている ( )

深い海では生き物の数も少ないので、えさに出合いにく  
いから ( ) えものをにがしくいから ( ) → [ ](2)

なかに自分のいる場所を知らせるため ( ) → [ ](2)  
暗やみの中でえさを取るため ( )

こわい顔で相手を驚かす はい ( ) いいえ ( ) → [ ](1)

光を役立てている生き物 はい ( ) いいえ ( ) → [ ](1)

## IV. 文書の読解

3・4年生

(9)

## V. 語彙知識

## A. 語の定義

準備：図版 25～34、ストップウォッチ

手続き：「運動する」とはどのような意味かと聞かれたら何と答えますか？」

子どもからの応答の適否にかかわらず、「運動する」とは「からだを動かす」という意味ですね。」

「これから、私がいくつかのことばを言うので、その意味を教えてください。」

①-a 図版は見せない。「とどける」とはどのような意味ですか？」

「わからない」または 20 秒たっても回答し始めない場合、「もっていく」といった意味が言えなかった場合、①-b に進む。

①-b 図版 25 を見せて「このなかで『とどける』と意味がいちばん似ていることばはどれですか？」(選択肢を読み上げる。)

②-a 図版は見せない。「まぜる」とはどのような意味ですか？」

「わからない」または 20 秒たっても回答し始めない場合、「いっしょにする」といった意味が言えなかった場合、②-b に進む。

②-b 図版 26 を見せて「このなかで『まぜる』と意味がいちばん似ていることばはどれですか？」(選択肢を読み上げる。)

③-a 図版は見せない。「けっしんする」とはどのような意味ですか？」

「わからない」または 20 秒たっても回答し始めない場合、「心をきめる」といった意味が言えなかった場合、③-b に進む。

③-b 図版 27 を見せて「このなかで『けっしんする』と意味がいちばん似ていることばはどれですか？」(選択肢を読み上げる。)

④-a 図版は見せない。「さしずする」とはどのような意味ですか？」

「わからない」または 20 秒たっても回答し始めない場合、「命令する」といった意味が言えなかった場合、④-b に進む。

④-b 図版 28 を見せて「このなかで『さしずする』と意味がいちばん似ていることばはどれですか？」(選択肢を読み上げる。)

## 【表出】

( ) → [ ](1)

□頭説明 (a) が正答であっても選択肢の正答と異なる言い回しの場合、3 択 (b) も実施する

うけとる ちかづく もっていく [ ](1)

( ) → [ ](1)

ならべる いっしょにする はずす [ ](1)

( ) → [ ](1)

あきらめる 人のいけんを聞く ところをきめる [ ](1)

( ) → [ ](1)

めいれいする 手をふる すばやくごく [ ](1)

「これから私が言うことばと意味がいちばん似ていることばを選んでください。」図版を見せながら選択肢を読み上げる。

- ⑤(図版 29) ちようわ まるをかくこと ( ) つりあっていること ( ) 間にあうこと ( ) [ ](1) →
- ⑥(図版 30) すいちよく 直角にまじわること ( ) 角がするどいこと ( ) まっすぐな線をひくこと ( ) [ ](1) →
- ⑦(図版 31) くつがえす くちをふさぐ ( ) くつをぬぐ ( ) さかさまにする ( ) [ ](1) →
- ⑧(図版 32) しつぼうする がっかりする ( ) せつめいする ( ) 思い出す ( ) [ ](1) →
- ⑨(図版 33) じっさいにあつたこと きたい ( ) さんか ( ) じじつ ( ) [ ](1) →
- ⑩(図版 34) 同じようにあつたこと そんなけい ( ) びょうどう ( ) えいきよう ( ) [ ](1) →

(14)

前頁①～④も合計に入れること

## B. 語想起

## 用途からの想起

- ①「時間を調べるのに時計を使います。では、曜日を調べるときに使うものは何ですか？」 ( ) [ ](1)
- ②「小さいものを見るときに使うものは何ですか？」 ( ) [ ](1)
- ③「速いものを見るときに使うものは何ですか？」 ( ) [ ](1)
- ④「道に迷ったときに使うものは何ですか？」 ( ) [ ](1)
- ⑤「方角を知るために使うものは何ですか？」 ( ) [ ](1)
- ⑥「お店の人がお金を受け取った証拠としてくれるものは何ですか？」 ( ) [ ](1)

(6)

## 反対語

「大きい」の反対の意味のことは「小さい」です。」

- ①「100ページの本は「厚い」です。では、「厚い」の反対の意味のことは何ですか？」 ( ) [ ](1)
- ②「「忘れる」の反対の意味のことは何ですか？」 ( ) [ ](1)
- ③「「沈む」の反対の意味のことは何ですか？」 ( ) [ ](1)
- ④「「心配する」の反対の意味のことは何ですか？」 ( ) [ ](1)
- ⑤「「危険」の反対の意味のことは何ですか？」 ( ) [ ](1)
- ⑥「「疑う」の反対の意味のことは何ですか？」 ( ) [ ](1)

(6)

「～じゃない」と回答した場合は、「ほかのことばはないですか？」と別のことばを促してください。以下の回答も不正解として再質問する。

→「上がる」

→「ほっとする」

→「だいじょうぶ」

## C. 位置を表す語を含む指示の理解

準備：図版 35～38

【練習】図版 35 の車を指さして「この車は（青い家を指さして）この青い家に行きます。見てください。」検査者は、車の上に指を置き、そのまま青い家まで導く。「今度は、私が車の行き先を言うので、どのように車が走るのか、その道すじをあなた指でなぞってください。では車の上に指を置いてください。」

「青い家に行ってください。」

正しければほめる。誤っていたら例示し、子どもにまねをさせる。

①(図版 36) 車の上に子どもの指を置かせる。「私が言い終わってから指を動かしてください。」

「ポストの左を通って黄色い家に行ってください。」

②(再度同じ図版 36) 車の上に子どもの指を置かせる。「ポストの右を通って青い家に行ってください。」

③(図版 37) 「公園のうらを通って左から 2 つ目の家に行ってください。」

④(図版 38) 「花屋の表(おもて)を通って郵便局の向かいの家に行ってください。」  
(「表」の意味を尋ねられても説明しない。)

記録 (✓) :

ポストの左を通って黄色い家に行くと ( ) ( ) → [ ] (2)

ポストの右を通って青い家に行くと ( ) ( ) → [ ] (2)

公園のうらを通って左から 2 つ目の家に行くと ( ) ( ) → [ ] (2)

花屋の表を通って郵便局の向かいの家に行くと ( ) ( ) → [ ] (2)

(郵便局の向かいの家に着くのに、芝生の上を横切ってしまったって構わない)

(8)

## A. 語の定義

(14)

B. 語想起  
用途からの想起

(6)

C. 位置を表す語を  
含む指示の理解

(6)

## V. 語彙知識

(8)

(34)

## VI. 慣用句・心的語彙

準備：図版 39～50

## 慣用句の

## 理解

「これから文を見せます。」図版を提示しながら読み上げる。「カッコの中に、この3つのことばのどれが入るか教えてください」と言いながら選択肢を指さし、読み上げる。

- ① (図版 39) 「またお母さんに注意されました。耳が ( )。」  
 ② (図版 40) 「あの人は次々といいいアイデアを出してくれる。  
 あの人は頭が ( )。」  
 ③ (図版 41) 「すぐに人のうわさ話をする。あの人は口が ( )。」  
 ④ (図版 42) 「太郎君はどのクラスにも友達がいる。太郎君は ( )  
 が広い。」

## 記録 (✓)：

いたい ( ) かゆい ( ) 大きい ( ) [ ](1)  
 まるい ( ) さがる ( ) やわらかい ( ) [ ](1)  
 はやい ( ) 重い ( ) 整い ( ) [ ](1)  
 おなか ( ) 顔 ( ) 手 ( ) [ ](1)

「次に言うことばにもっともあてはまる絵を指さしてください。」

- ⑤ (図版 43) 「固い顔をしています。」  
 ⑥ (図版 44) 「かさの傘」  
 ⑦ (図版 45) 「雪のようなウサギ」

無表情 ( ) 四角い顔 ( ) 笑顔 ( ) [ ](1)  
 逆さの傘 ( ) 海辺 ( ) 多くの傘 ( ) [ ](1)  
 降るウサギ ( ) 白ウサギ ( ) 雪ウサギ ( ) [ ](1)

## 心的語彙

## の理解

「私の言うことをよく聞いてください。」問題文を読むときは図版を見せない。

- ① 「友だちとはとてもじょうずにピアノをひきます。わたしも同じようにひけるといいなと思います。」図版 46 を提示する。「今のことばを言った人の気持ちる3つの中から選んでください。」選択肢を指さし読み上げる。問題文は繰り返しでもよい。②～⑤も同じ流れで行う。  
 ② 「ゆきちゃんはいつもわたしを助けてくれます。これからもわたしがおねがいたときは助けてくれると思います。」(図版 47) 「今のことばを言った人の気持ちはどれですか？」  
 ③ 「かくれんぼで木のかげにかくれていたら、おにがちかくをとおりすぎていきました。」(図版 48) 「この人の気持ちはどれですか？」  
 ④ 「おねえさんは、キーキがほしくて、わたしのことをほめました。うれしくなって、わたしはおねえさんにキーキを半分あげることになりました。」おねえさんのしたことは何ですか？」(図版 49)  
 ⑤ 「先生はわたしのことをほめてくれました。わたしは、たいしたことはありません、と言いました。」わたしがしたことは何ですか？」(図版 50)

## 記録 (✓)：

おいしい ( ) うらやましい ( ) うれしい ( ) [ ](1)  
 しんじる ( ) うたがう ( ) あきらめる ( ) [ ](1)  
 はらはら ( ) いらいら ( ) くよくよ ( ) [ ](1)  
 ねだる ( ) ねたむ ( ) おだてる ( ) [ ](1)  
 えんりよする ( ) けんぞんする ( ) じまんする ( ) [ ](1)

(12)

## VII. 慣用句・心的語彙

## Ⅶ. 文表現

## A. 文の構成

準備： 図版 51～62

手続さ： (図版 51) 「この絵を見てください。女の子のようすをことばで言うと、『女の子が食べています』です。カッコの中に「が」が入ることを指さして示す。「ではこれから見せるカッコの中にどんなことばが入るか考えてください。」

① (図版 52) 「男の子 ( ) ボール ( ) なげます。」

「男の子、なんとか、ボール、なんとか、なげます」のように読み上げる。誤答の場合、①についてののみ正答を教える。

② (図版 53) 「リスはウサギ ( ) おいかけ ( ) 」。問題文を読み上げてかまわない。

「ウサギと追いかけてくしている」と答えたら、  
「はかにはどう言った方がいいですか」と尋ねてください。

③ (図版 54) 「はさみ ( ) 女の子 ( ) かみ ( ) きっています。」

④ (図版 55) 「にんぎょうは女の子にふくをきせて ( ) 。」

⑤-a (図版 56) 「男の子は犬にボールをおいかけ ( ) 。」

⑤-b 読みの場合 (図版 57) 「このなかのどれだと思えますか?」

⑥ (図版 58) 「公園に出かけたたら雨がふってきました。もしもてんきよほうを見ていたら ( ) 。」

⑦-a (図版 59) 「もう少ししててがみをかきおえるところでした。( ) えんぴつのしんがおれてしまいました。」

⑦-b 「ところが」以外の場合 (図版 60) 「このなかのどれだと思えますか?」

## 記録 (✓) :

男の子が・は ボール を なげます  
( ) ( ) ( ) → [ ] (2)

リスはウサギに おいかけ られる・られてい  
( ) ( ) ( ) → [ ] (2)

はさみ で 女の子 が・は かみ を きっています  
( ) ( ) ( ) ( ) → [ ] (3)

ふくをきせて もらう・もらっている  
( ) ( ) ( ) → [ ] (1)

記録： ( ) ( )

⑤-aが正答の場合⑤-bも正答とする。⑦⑧についても同様。

られます ( ) ています ( ) させます ( ) → [ ] (1)

記録： ( ) ( )

出かかなかつたのに・かさを持ってきただらう等 (2点)

出かかなかつた・出かかない・かさを持ってきた・かさを持ってくる等 (1点)

記録： ( ) ( )

口頭説明 (a) が「ところが」以外で正答の場合、3択 (b) も実施する

⑦-b 「ところが」以外の場合 ( ) そして ( ) さらに ( ) → [ ] (1)



- ⑧ (図版 61) 「その鳥はとてもうつくしい声で歌います。( ) はねはきれいなピンクいろです。」「その・鳥の・その・鳥の・そして・そうして」 (2点満点: 採点マニュアル参照)
- 口頭説明 (a) が「しかも」以外で  
正答の場合、3択 (b) も実施する
- ⑧-b 「しかも」以外の場合 (図版 62) 「このなかのどれだと思えますか?」 でも ( ) しかも ( ) あるいは ( ) → [ ] (1)

(18)

## A. 文の構成

## B. 状況説明

準 備: 図版 63~66

手続き: 図版 63 を見せながら「つぎはお話を作ります。この絵について、(絵の中に書かれているキーワードを指さしながら)『やっ」ということばを使ってお話を作るので、聞いてください。『山道をいっしょけんめい登ったら、やっ」と頂上につきました。』とか、『やっ」と頂上についたので、あとから来る友だちに手をふりました』とかお話ができますね。」

① 図版 64 を見せながら「これから、絵でかかれていたことをことばでお話ししてもらいます。この絵をみて、すすむ君のように説明してください。かならず『ので』ということばを使ってください。『すすむ君は～(なんとか)したので、～(なんとか)した。』というようにお話ししてください。」

20秒たっても応答がない、「ので」を使わない、絵にそった話をしない(絵とは無関係な話をする)場合、

「それではヒントを出します。すすむ君は病院に行く途中みたいですね。どうしてだと思いますか。」

ヒント後に「お腹が痛いから」のように、「ので」を使わない場合は、「では『ので』を使ってお話を作ってみてください」と促す。

「すすむ君」を「㊟」と書くなど、省略記号を用いて筆記して構わない

記録:

ヒントを必要とした場合:



## 採点の観点

a) 『ので』の正しい使用：1点。『ので』をささんで、前が原因、後が結果を説明していること。a) についてのみ、文全体が文法的に正しいこと。絵の内容と一致していない可。

b) 原因(食べ過ぎ)と結果(腹痛)の適切な説明：ヒントなし2点、ヒントあり1点。適切な原因と結果の組み合わせの例は、「食べ過ぎ→腹痛」、「腹痛→病院」、「食べ過ぎ→病院」、「病気→食べられない」。

② 図版 65 を見せながら「あきら君はあしたの予定について考えています。この絵を見て、あきら君が考えていることを説明してください。必ず、『もしも、あした～(なになに)』ということばを使って説明してください。」

20秒たっても応答がない、「もしも、あした」を使わない、絵にそった語をしない(絵とは無関係な話をする)場合、  
「それではヒントを出します。最初は、『もしも、あした、雨だったら～』ということばから始まります。そのあとを続けてください。」

## 採点の観点

a) 『もしも』の正しい使用：1点。ヒントなしで、「もしも、あした」に対して「○○だったら、○○」、「○○なら、○○」、「○○のときは、○○」など、仮定・条件に続いて、予測や意思が表現されていること。a) についてのみ、文全体が文法的に正しいこと。この文型が何度使われても1点を上限とする。絵の内容と一致していても可。

b) 雨の場合と晴れの場合の適切な説明：

- ・ ヒントなしで、雨と晴れの両方に言及→2点 ( )
- ・ ヒントなしで、雨の場合が晴れの場合のいずれかに言及→1点 ( )
- ・ ヒント有りで、雨の場合と晴れの場合の両方に言及→1点 ( )

記録 a)：『ので』の正しい使用 ( )

記録 b)：適切な説明 ヒントなし2点 ( )  
ヒントあり1点 ( )

a) と b) の合計 [ ](3)

「もしもあした」を「(B)」と書くなど、省略記号を用いて筆記し構わない

記録：

[ ]

ヒントを必要とした場合：

[ ]



記録 a)：『もしも』の正しい使用(ヒントなし) ( )

記録 b)：点数 ( )

ヒントに続けて雨の場合についてのみ説明したときに [ ](3)

は、aの1点のみが与えられる。

③ 図版 66 を見せながら「この絵を見てください。この絵でかかっている構子を『けれども』ということばを使って説明してください。」

記録：

[ ]

20秒たっても応答がない、「けれども」を使わない、絵にそった話をしない（絵とは無関係な話をする）場合、

「それではヒントを出します。最初は、『女の子はひとりでがんばって積み木のお城を作りました。けれども〜』と始めてみましょう。そのあとを続けてください。」

「けれども」を含む文法的でない場合や、絵の一部分についての説明する場合、不完全な説明の場合には、ヒントを出さず、それを子どもの回答とする。

ヒントを必要とした場合：

[ ]

#### 採点の観点

a) 『けれども』の正しい使用（ヒントなし）：1点 『けれども』の前の状況がキーワード後にくつがえされる内容であること。a) についてののみ、文全体が文法的に正しいこと。絵の内容と一致していても可。ヒントを与えた場合は0点。

記録 a)：『けれども』の正しい使用（ヒントなし）（ ）

#### b) 適切な内容の説明：

- ・ ヒントなしで、時間経過に沿った3項目からなる説明は2点（ ）
  - ・ 3項目の組み合わせの例：
    - 女の子が積み木で作品を作った→ネコがこわした→女の子が泣いた
    - 女の子が積み木で遊んでいた→ネコがこわした→ネコは行ってしまった
  - ・ ヒントなしで、時間経過に沿った2項目からなる説明は1点（ ）
  - ・ 2項目の組み合わせの例：女の子が積み木で作品を作った→ネコがこわした
  - ・ ヒントに応じた2つの適切な内容を含む応答は1点（ ）
- 「ネコがこわした→女の子が泣いた」は可。  
「ネコがこわした」あるいは「女の子が泣いた」のみは不可。

記録 b)：点数（ ）

a) と b) の合計 [ ] (3)

[ ] (9)

#### B. 状況説明

A. 文の構成	B. 状況説明	VII. 文表現
(18)	(9)	(27)
	+	=

## Ⅶ. 対人文脈

## A. 発話調整

準備： 図版 67～70

手続き： ①図版 67の女の子を指さして

- a. 「この女の子はだれかに向かってバイバイと言っています。(選択絵を指さして)先生か友だちだったら、どっちだと思いますか？」不正解の場合、②へ進む。  
b. 「では、相手が先生だったら、なんと言えばいいですか？」

採点基準：2点満点

- a：友だちの絵を指さすこと (1点)  
b：「さようなら」、「失礼します」など (1点)

②図版 68の女の子を指さして

- a. 「この女の人だれかに向かって『はやくしなさい』と言っています。(選択絵を指さして) おじいさんか子どもだったら、どっちだと思いますか？」  
b. 「では、相手がおじいさんだったら、なんと言えばいいですか？」

採点基準：2点満点

- a：こどもの絵を指さすこと (1点)  
「お年寄りに向かってそんなことは言わない」というような発言も可。  
b：「はやくしてください」、「急いでください」など

③図版 69の上の男の子を指さして

- 「この男の子は、ゆきちゃんに向かって『これはゆきちゃんにあげるよ』と言っています。(下の男の子を指さして) では、相手がおばあさんだったら、何と言ったらいいですか？『これはおばあさんに？』  
「あげます」と答えた場合、「もっとよい言い方はありませんか？」と尋ねる。

採点基準：2点満点

- 「あげます」「あげますよ」(1点) 「さしあげます」「さしあげますよ」(2点)

④図版 70の上の女の子を指さして

- 「この女の子は、『この本はたろう君からもらいました』と言っています。」  
下の女の子を指さして「では、本をくれたのが先生だったら、何と言いますか？『この本は先生から？』」

採点基準：1点満点「いたいた」「いただきました」

記録 (✓)：

友だち ( ) → [ ] (1)

先生 ( ) →不正解の場合②へ進む

記録 ( ) → [ ] (1)

記録 (✓)：

子ども ( ) → [ ] (1)

おじいさん ( ) →不正解の場合③へ進む

記録 ( ) → [ ] (1)

記録 ( ) → [ ] (2)

記録 ( ) → [ ] (1)

(7)

A. 発話調整

## B. 皮肉の理解

手続き：

図版は用いない。

- ①「たろう君は学校から帰って2時間テレビを見ていました。お母さんはたろう君に向かって言いました。「よく勉強しているね。」お母さんはたろう君をほめていますか？」

正誤にかかわらず、次の質問をする。

「ではお母さんはたろう君に何を言いたかったのでしょうか？」

記録 (✓) : ほめていない ( )  
ほめている ( )

→ [ ] (1)

記録

→ [ ] (1)

- ②「まゆみちゃんのへやはとてもちかっています。お母さんがまゆみちゃんのへやの中を見て言いました。「台風が通り過ぎた後みたいだね。」お母さんはまゆみちゃんに何を言いたかったのでしょうか？」

記録

→ [ ] (1)

(3)

## B. 皮肉の理解

## A. 発話調整

[ (7) ]

+

[ (3) ]

=

[ (10) ]

## Ⅶ. 対人文脈

## IX. 柔軟性

## A. 関連語の想起

準備： ストップウォッチ

手続き： 「四角いものにはどのようなものがありますか？」

しばらく待って子どもの回答に応じる。「四角いものにはサイコロがあります。このほかにも、とうふ、冷蔵庫がありますね。」(「ジヤンパー」と「洋服」, 「虫」と「せみ」のように上位・下位概念の語はひとつと数える。また、「りんご」「みかん」「メロン」のように同一カテゴリーの具体物を3つ以上挙げた場合は、2つまで数える。)

制限時間  
30 秒

① 「丸い物にはどのようなものがありますか？ できるだけたくさんあげてください。」(各問題制限時間 30 秒)

記録：

② 「やわらかいものにはどのようなものがありますか？」

「たべもの」という回答には「どんな食べ物？」と質問してください。

「からだ」と答えたら、「からだのどこがやわらかい？」と質問してください。

記録：

③ 「夏に関係のあるものには、スイカがありますね。ほかにはどのようなものがありますか？」

記録：

④ 「旅行に関係のあるものにはどのようなものがありますか？」

記録：

語数

[ ] (3)

[ ] (3)

[ ] (3)

[ ] (3)

1~2 語→1 点  
3~4 語→2 点  
5 語以上→3 点

## B. 推論

準備： 図版 71~72, ストップウォッチ

手続き： ① 図版 71 を見せながら次のように言う。「休み時間になりました。ろうかに出ると、水道の水が出っぱなしになっています。どうして水が出たままになっっていると思いますか？ 考えられる理由を3つあげてください。」  
30 秒以内に言い始めれば、言い終わったときに30秒を過ぎていても可。

制限時間  
30 秒

② 図版 72 を見せながら次のように言う。「お母さんが買い物に出かけて行きました。何も買わずに帰ってきました。どうしてだと思いますか。考えられる理由を3つあげてください。」  
30 秒以内に言い始めれば、言い終わったときに30秒を過ぎていても可。

記録

[ ] (3)

記録

[ ] (3)

(18)

IX. 柔軟性

同じ内容の答えを複数挙げる場合には、制限時間であればさらに答えを促しても構わない(「実施手続き」参照)

想起された理由の数によって各問3点まで

## X. 音韻意識

## A. 3 モーラ語の語中音抽出

手続さ：(図版 73)

例示：「これから言うことばの真ん中の音を教えてください。(図版のマス目を上から順に指さしながら) 例えば、『たまご』の場合は、真ん中の音は『ま』ですね。では、本番です。」

① 図版をみせたまま「さかな」のまんなかの音は何ですか？

記録 ( ) → [ ] (1)

② 図版を片づけて「つばめ」のまんなかの音は何ですか？

記録 ( ) → [ ] (1)

## B. 語尾音からの語想起

例示：「これから私が言う音で終わることばを教えてください。(図版 73 のマス目の一番下を指さして) 例えば、『め』で終わることばには、『つばめ』があります。『ゆめ』も『め』で終わりますね。では本番です。」図版を片づけて見せないようにする。

(各問題制限時間 20 秒)

① 「ま」で終わることばは何ですか？「ひとつ拳がればよい。「ママ」の場合は別の語を言うように促す。

記録 ( ) → [ ] (1)

② 「か」で終わることばは何ですか？「蚊」の場合は別の語を言うように促す。

記録 ( ) → [ ] (1)

## C. 逆唱

## 意味語

「これから言うことばを反対から言ってください。(図版 73 のマス目を上から順に指さしながら) 例えば、『たまご』の場合は、反対から言うと(マス目を下から上に向かって順に指さしながら)「ごまた」となりますね。では、本番です。」(各問題制限時間 20 秒)

① 図版を見せたまま「きつね」を反対から言ってください。このマスを指さしながら考えても構いません。」

記録 ( ) → [ ] (1)

② 図版を片づけて「りんご」を反対から言ってください。」  
音韻意識課題では、自分から指を使い始めた場合は、指を使ってもかまわない。

記録 ( ) → [ ] (1)

→ ①②とも不正解の場合、意味語課題は終了。⑤の無意味語課題へ。

③ 「ぶらんこ」を反対から言ってください。」

記録 ( ) → [ ] (1)

④ 「さくらんぼ」を反対から言ってください。」

記録 ( ) → [ ] (1)

無意味語：「今度は日本語ではないでたらめなことばを言います。よく聞いて反対から言ってください。一度しか言わないのでよく聞いてください。」

⑤「けのば」

記録 ( ) → [ ](1)

⑥「さまるか」

記録 ( ) → [ ](1)

#### D. 特殊拍の位置

(図版 74～77)

「これから私が言うことばと同じ文字を指さしてください。」

①(図版 74) 「ろけっと」

ろけと ( ) ろけと ( ) ろけっと ( ) ろけうと ( ) → [ ](1)

②(図版 75) 「ふうせん」

ふせん ( ) ふうせん ( ) ふうんせ ( ) ふんせん ( ) → [ ](1)

③(図版 76) 「どったんばったん」

どたんばたん ( ) どったんばたん ( )  
どたんばたん ( ) どったんばったん ( ) → [ ](1)

④(図版 77) 「こうつうこうえん」

こうつうこうえん ( ) こうつうこえん ( ) こうつうこえん ( ) → [ ](1)

#### E. 音韻の置換

(図版 78～81)

図版 78 を見せて「これから、私が言うことばのなかから『か』の音だけ『て』に変えてもります。例えば、『からず』と言ったら『てらず』に変えてください。『さかな』と言ったら『さてな』になります。』『では本番です。』図版を見せて、絵で描かれたことばを聞かせる。(各問題制限時間 20 秒)

①(図版 79) 「かみ」(できなければ、①についてのみ正解を教える)

記録 ( ) → [ ](1)

②(図版 80) 「かもしか」

記録 ( ) → [ ](1)

③(図版 81) 「かたつむり」

記録 ( ) → [ ](1)

(17)

X. 音韻意識 (A～E 全合計)